

会 議 録

会議の名称	令和4年度第2回那珂川市文化芸術推進審議会		
開催日時	令和4年11月9日(水) 10:00~12:00	開催場所	那珂川市役所 別館2階 会議室
出席者	<p>1. 委員 長津委員、須川委員、簗原委員、柴田委員、森委員、関岡委員 (欠席)田北委員、鳥部委員</p> <p>2. 執行機関(事務局) 吉岡文化振興課長、藏菌文化振興課文化振興担当係長、福田文化振興課文化振興担当主任主事</p> <p>3. その他 株式会社地域計画建築研究所(コンサルタント)2名</p>		
配布資料	<p>資料1 第1回審議会の振り返り(要旨)</p> <p>資料2-1 調査計画(修正案)</p> <p>資料2-2 市民意識調査 依頼状・調査票</p> <p>資料2-3 子ども向け意識調査 調査票</p> <p>資料3 関係団体ヒアリング調査計画(調査対象・調査項目)</p> <p>資料4 策定スケジュール</p>		
公開区分	<p>開示 ・ 一部開示 ・ 非開示 (理由:情報公開条例第9条第1項第2号及び第3号に該当)</p>		
<p>議題及び審議の内容</p> <p>1. 第1回審議会の振り返り (資料1)</p> <p>2. 話題提供 (可児市文化創造センターala ((公財)可児市文化芸術振興財団) より話題提供)</p> <p>3. 議題: 各種調査について (株式会社地域計画建築研究所より説明)</p> <p>(1) 意識調査について (資料2-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民 (18歳以上) 向け (資料2-2) ・ 子ども向け (資料2-3) ・ ミリカローデン那珂川来館者向け <p>【質疑応答】</p> <p>[委 員]: 小学校5年と中学校2年と決めてあって、小学校であれば5年、中学校であれば2年なので、学年は知らない。</p> <p>[事務局]: 学年の表記は修正する。</p> <p>[委 員]: 子どもの調査票で、問4について、大人に聞く時は「この1年で」という聞き方をしているが、それが外れた意図は何か。問5~問7で「どのような理由で鑑賞しましたか」「どのような理由で体験・参加・活動しま</p>			

したか」というところで、家族・友人との用事という言い方が適切ではない。「家族・友人に誘われたから」ということではないか。

資料 2-1 の 3 頁目、ミリカローデンの来館者のことで、ミリカローデンを利用している団体は調査対象の③に入るのか。文化団体の方は、今回対象としないのか。

【事務局】: 資料 2-3 の問 4 以降の設問で「時期を指定していない」という点は、子どもたちは学校があるので、大人よりも文化芸術に触れているケースはあるが、一方で人生経験を含めて短いので、「過去 1 年間」とすると数字も含めて出てこないのではと思います、一旦外している。入れた方がよいとのことであれば、そのようにする。

【委員】: 5 年後、10 年後に政策評価する際に、ここがどれくらい増えたか、減ったかという話をすることになると思う。そう考えると、調査期間が明確な方が後から比較しやすい。

【事務局】: 利用団体については、ミリカローデンの貸館利用の団体は色々あると思うが、文化団体に限定してアンケートをお願いできるだろうか。別途、文化芸術団体へのヒアリングは実施予定であり、ミリカローデンの利用状況等も把握するのでカバーできると思う。

今のご意見を踏まえて、ミリカローデンを利用されている団体に対してアンケートをするかどうかは検討したい。

【委員】: ミリカローデンへの来館は、大きく 4 つに分かれる。①文化ホールを利用されるイベントの方、それから、②文化サークルというカルチャセンターで利用する方、そして③図書館、④それ以外のふらっと訪れる方である。このカテゴリーで行くと、文化ホールの貸館のイベントに来られた方が含まれていないので、そこをどうするか。主催イベントであれば、今月は吹奏楽団、12 月上旬であれば人権フェスタ等がある。例えば、そういう所で QR コード付きのチラシを配れば、一定程度のイベント来館者に渡すことができる。2 つ目のサークルの会員は、①で補完できる。③も、④で補完できる。ふらっと訪れた方は、ここに含まれにくいので、どうするかはまた個別にご相談出来ればと思う。

【委員】: 前回、「問 1 で、文化は難しいのではないですか」と意見したが、改めて見て「文化とは何だろうか」と、関わっている自分も良く分からなかった。ネットで検索してみたりしたが難しく、私は答えきれないと思う。何かもう少し工夫できないか。

【委員】: この設問の直下に、「音楽を演奏する、絵を描くなど」とあるので、問 1 を記入する際には、かなりこれに引っ張られるのではないか。それで出てきたものに、どれだけ意味があるのだろうか。

問 3 で色々なジャンルのことが書いている。「例えば、こういうこと」ということが分かった上で、「那珂川市の文化として思い浮かぶものは何ですか」という順番であれば、まだ幅が広がるのではないか。「那珂川市の文化」の所と、その下の黒帯の部分との関係で、色々なジャンルがある

ことに意識を向けた上で、「これやっていましたか」と聞いた方が良い。
それから「那珂川市の文化とは何ですか」の方が答えやすいと思う。

【事務局】：設問の順番について、後半の 8 頁に那珂川市の文化振興についてというグルーピングを設けている。問 1 の設問を入れる場所と、設問の内容を含めて再度協議したい。問 2、問 3 の回答の仕方について、例示があった上で尋ねるといった点については、ご意見を参考に修正し、改めて皆さんにご意見を頂くようにしたい。

【委員】：ちなみに「那珂川市の文化」と聞いて皆さんは何て答えられるのだろうか。私は「わからない」と答える。何を想定しての設問なのかを聞いてみたい。

【委員】：どんな回答でも良いと思っていると感じている。ここを重要視しているわけではないと思う。最初に聞いた時に書かれてあっても、書かれていなくてもどっちでも良いという気持ちで設けられていると思う。

【事務局】：そもそも「那珂川市の文化」ということに対して、市民の皆さんがイメージとしてあるのかということが疑問として持っている。「わからない」という回答が多いことを知ることも、1つあると思っている。

【委員】：その程度であれば、この下の黒帯は外した方がよい。凄く引っ張られると思う。

【委員】：個人的な文化に対する想いなのか、那珂川市に限定した場合は「よくわからない」と思う。

【委員】：であるならば、問 14、15、16 でカバーできているのではないかと。問 14 は、個人的に「文化的」、「芸術的」だということ、問 15 は、那珂川市が文化芸術施策を進めていく上でこんなまちになったら良い、問 16 は、具体的な施策をどうしたら良い、という設問となっている。この 3 つで事務局が説明されたことはカバーできているのではないかと。問 15 の設問分は修正した方がよい。

【委員】：あえて問 1 は入れなくてもよいということか。

【委員】：かなり答えにくいということなので、それでも入れるかどうか。

【事務局】：行政側として単純な疑問として入れている部分はあるが、回答者の立場としては、突然聞かれても分からないということかと思う。

【委員】：むしろ専門家や、外部の方に「那珂川市の文化はどういうことをイメージされるか」を聞いた方がよい。住んでいる人にとっては、市の文化といっても抽象的であり、抽象的な回答しかできない。それから何を得られようとしているかが見えにくい。おそらく、空白で出てくると思う。

【委員】：調査票の 4 頁に出てくるミリカローデン那珂川の定義はしておかなくてよいか。ご承知の通り、文化ホール、図書館、プールの建物がある。ふれあいこども館は別物だと思っているが、同一敷地内なので一体のものと思われている方が多い。

【事務局】：スペースの関係もあり、細かくは書けないと思うが、ふれあいこども館とミリカローデン那珂川が同一のものと捉えられているという想定は

していなかったなので、書き方を工夫したい。

【会 長】: 大きな問題としては、問1をどうするか。その他、色々のご意見を頂いたので、引き続き審議としたい。

(2) 関係団体ヒアリングについて (資料3)

【質疑応答】

【委 員】: 文化協会の加盟団体の中には、メンバーのほぼ全てが那珂川市外の方で構成されている団体もある。この点をどうしたらよいかは個別に相談したい。

【会 長】: 先ほど、事務局には伝えたが分類の中で美術や演劇もあると良いと伝えている。また、委員の意見を集約される際に、皆さんも関係する団体等が思い浮かべばお願いしたい。

(3) ワークショップについて

【質疑なし】

4. 今後の進め方 (資料4) (文化振興課より今後の日程等について報告)

【会 長】: 以上をもって第2回那珂川市文化芸術推進審議会を閉会する。